

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年2月22日

公表: 令和6年3月1日

事業所名 ルック未来サライ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動内容によって机の配置を行いスペースを確保して	
	2	職員の配置数は適切である		○		手厚い支援を心がけている	1対1が必要な児童には指導員を多めに配置するようにしています
	3	事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされている	○			全てバリアフリーになっています	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			昼礼を行い確認しています	毎日意見の交換、振り返りを行う様に心がけています
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			評価表を基に情報公開等を	保護者様の意見を参考に業務改善を行っているが全ての解決には至っていないので解決できるように努めます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページにて公開	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		第三者の外部評価は実施できていません
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している			○	都度不明な場合は月に一度はキチンとした時間を設け全体研修を行う様にしています		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			児童発達支援管理者が適切に行っている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			定期的に見直して状況の把握に努めている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			全職員で行っている	指導員にも意見を出してもらい考案している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			四季を感じられる内容を取り込んでいる	固定しない様に以前のプログラムを確認し作成している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			個別の課題整理を十分に行い支援している	平日と休日で活動の内容を変化させている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別活動、集団活動を組み合わせ支援を行っています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			日々受け入れ前に行っています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			その日に気になった出来事などは共有し次の支援に繋がるようにしています	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			十分な支援を、と全員が責任をもって行っている	記録を取り共有、支援方法の改善に繋がっている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			児童発達支援管理者がきちんと行い全職員が共有している	半年に一度行っています。また、必要に応じて計画の見直し、お行います。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			自立支援を主体に食育、作成、作業、野外活動を組み合わせ支援をしています	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援責任管理者が参加している	現在の状況や今後の課題なども含め共有できるようにしています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者様から頂く下校予定表をもとに学校からの下校時間や引渡し方法を確認しながら行っています		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○		医療ケアが必要な児童は現在利用がありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			相談支援員からの情報やお話を伺い情報共有しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○		現在利用がありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○		機会がありましたら積極的に参加したい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			休校日など、近隣の児童館に行く機会もあり、交流できる場所として利用しています	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○		積極的に参加していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時に必ず伝える様にしている	場合によって連絡帳や電話でお伝えするように心がけています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		今の所は行っていません	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約前に保護者様に十分な説明を行う	契約の際、変更の際に一つ一つ確認し、お伝えしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			すぐに対応するようにしています	保護者様の話しやすい環境を作っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○				年1回は開催予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情窓口の電話対応は保護者様に伝えてあり、迅速な対応を致します	どんなに小さな事でも話して頂ける様に話しやすい環境を作ります
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月配信、発行	月に一度、利用時の様子が分かる様に新聞を作成し配布している。プログラムもホームページにて配信し、利用者様にはお手紙と一緒に配布している
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報に関しては常に呼び掛けている	日々細心の注意を払う様伝えていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			人権を尊重して慎重におこなう	抽象的で分かりづらい言葉は使用しないようにしています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		色々な意見があるので現状は難しいです

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		書面にて伝えて います	職員には、定期的に研修を行っております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回実施	消防訓練、避難訓練、実際の火災・地震を想定し訓練しています。プログラムでも分かりやすく記載しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年1回虐待構成 委員会を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		計画書に記載	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様と共有	保護者様からの情報を元に排除などの対応をさせていただいている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットは常に共有出来る様にしている